

住み慣れた地域で一生暮らせるように、必要な時、必要な支援を！！

——— 施設入所させないで済む地域生活支援システムを作りましょう ———

地域療育が構築され、障害児の早期発見早期療育がなされ、また養護学校義務化で就学が保障され、卒業後の行き場も「在宅0」を目指して通所する場が整備され、今では幼児期や学童期の早期から、地域から分断されて施設入所というような、障害児が地域の人から見えなくなってしまうようなことはなくなりました。

しかし障害者とその家族が、地域の中であたりまえに、生き生きと暮らしているかというと、地域の理解と支援はまだまだ不十分。障害ゆえの「生活のしづらさ」があります。それはとりもなおさず日々の暮らしが、家族によってのみ支えられており、家族の日常には生活のゆとりも将来の安心もないからです。

病気や怪我や高齢になった時、そして親亡き後の不安感、さらに家族の日常生活を壊す問題行動やパニックに対応しなければならぬ疲労感や絶望感、旅行はおろか兄弟の保護者会や冠婚葬祭はじめ近所付き合いも制限されての孤立感・・・ひとりで悩んでいる親の負担は想像以上のものがあります。

それ故に、地域福祉が叫ばれている今でもなお、それに反対して施設福祉を希望する親がまだまだ大勢いるのです。障害を持つ本人は「地域で生きたい」と切望しても・・・

現在、教育・福祉・労働・保健・医療の行政サービスはじめ地域の社会資源は徐々に整備されました。しかし窓口がバラバラで、しかも縦割りで個別に機能しており、それらは申請が原則となっています。親にとっては、申請の手続きが面倒だったり、たらい回しに会ったり、不愉快な思いをしたりで、あきらめ、怒り、そしてひとりで問題を抱えては不安で悩む・・・といった現状です。

これらを解決するには、必要な時に必要なサービスを柔軟に提供できるよう、本人が主人公のサービス内容を考え、地域資源を機能的に結ぶ、利用者中心のネットワークの構築が必要です。

平成元年に設立した、ボランティアグループ「あおぞら共生会」は、「地域に生きる」という「ひまわり」の理念を、成人になっても具体化するために、地域作業所やグループホームを設立し運営を支援し、さらに就労支援と生活支援を、その他、会員相互間で子育て相談、教育相談、健康相談、余暇活動支援等、各種のサポートおよび情報提供を行ってきております。

この度「あおぞら共生会」は、新規事業として、サポートセンター「あおぞらの街」を立ち上げ（平成10年4月設立の「あおぞらの街生活支援センター」を改称）、障害をもっているも社会に自立し人間らしく充実した生活が一生できるよう、そのためには本人や家族が地域での「生活のしづらさ」から開放されるよう、試行錯誤しながらも、創意工夫して、地域ケアシステムの構築を目指して活動したいと思っています。

具体的には、必要な時に必要なサービスを柔軟に提供し、そして地域の福祉資源と連携をとり、さらに不足している不可欠なサービスは新たに創りだしていく、そのような本人や家族、すなわち利用者の主体性を保障できる活動をしたいと思っています。...  
家族が倒れることなく、一生懸命地域で暮らす、その支えとなる条件を少しでも多く整備できるように、さまざまな工夫と試みを行いたいと思います。  
サポートセンター「あおぞらの街」は非営利の有償在宅福祉サービス等を供給します。

社会福祉基礎構造改革は、「施設福祉」から「在宅福祉」へ、「措置」から「利用契約」へと急速に変化しており、20数年前から私達が願っていた実行してきた「地域の中で」が、これからは福祉の主流となって進んでいくことでしょう。  
この地域福祉計画とは「家庭や地域の中で、障害の有無や年齢にかかわらず、社会参加ができ、その人らしい生活が送れるよう、それぞれの地域において総合的なサービスを受けられる体制を整備することが重要である」と言っています。  
この変革の基本にあるノーマライゼーションの精神を具体化し、サポートセンター「あおぞらの街」という地域生活支援活動を私達の地域に定着化させていきたいと思います。

詳しくは「あおぞらの街」の概要、サービスの内容、利用登録、料金等、「利用のしおり」をお読み下さい。利用できる方は、障害の有無、年齢、性別、居住地を問わず、「あおぞらの街」がサービス供給のできる範囲で提供させていただきますので、ご相談下さい。  
ニーズが多ければさらにスタッフを増やし、柔軟に対応していきます。一緒に考えていきましょう。多くの方の協力が必要となります。

「あおぞらの街」が利用者に支持され、地域の信頼を得れば、私達がこの20数年間、地域に生きるために必要な、保育や教育等の制度を行政と一緒に創ってきたように、私達の地域生活支援も行政に交渉して制度化したいと思っています。皆様のご理解とご支援どうぞよろしくお願い致します。

さしあたっては有料のボランティア活動をして地域の皆様のお役に立ちたいと思っています。皆様からの会費と利用料が「あおぞらの街」の運営を支えてくれます。  
趣旨に賛同される方は、「あおぞら共生会」から継続して賛助会員（年間3000円・共生会費は不要）になって応援して下さい。サポートを必要とする人は、サービス利用者として契約して下さい。（個人会員・団体会員）  
サービスの担い手になって下さる方はスタッフとして登録して下さい。（短時間でも可）  
皆様からのご連絡お待ちしております。（☎044-366-8578）  
" " 7255

————— あなたのまわりに お困りの方いませんか？  
そしてあなた 手助けしてくれませんか？ —————

趣意書に代えて

1999.9.

サポートセンター「あおぞらの街」代表 明石 洋子  
↑  
(2000年5月 NPO法人に取得)理事長

賛助会員 募集中 年会費 2,000円